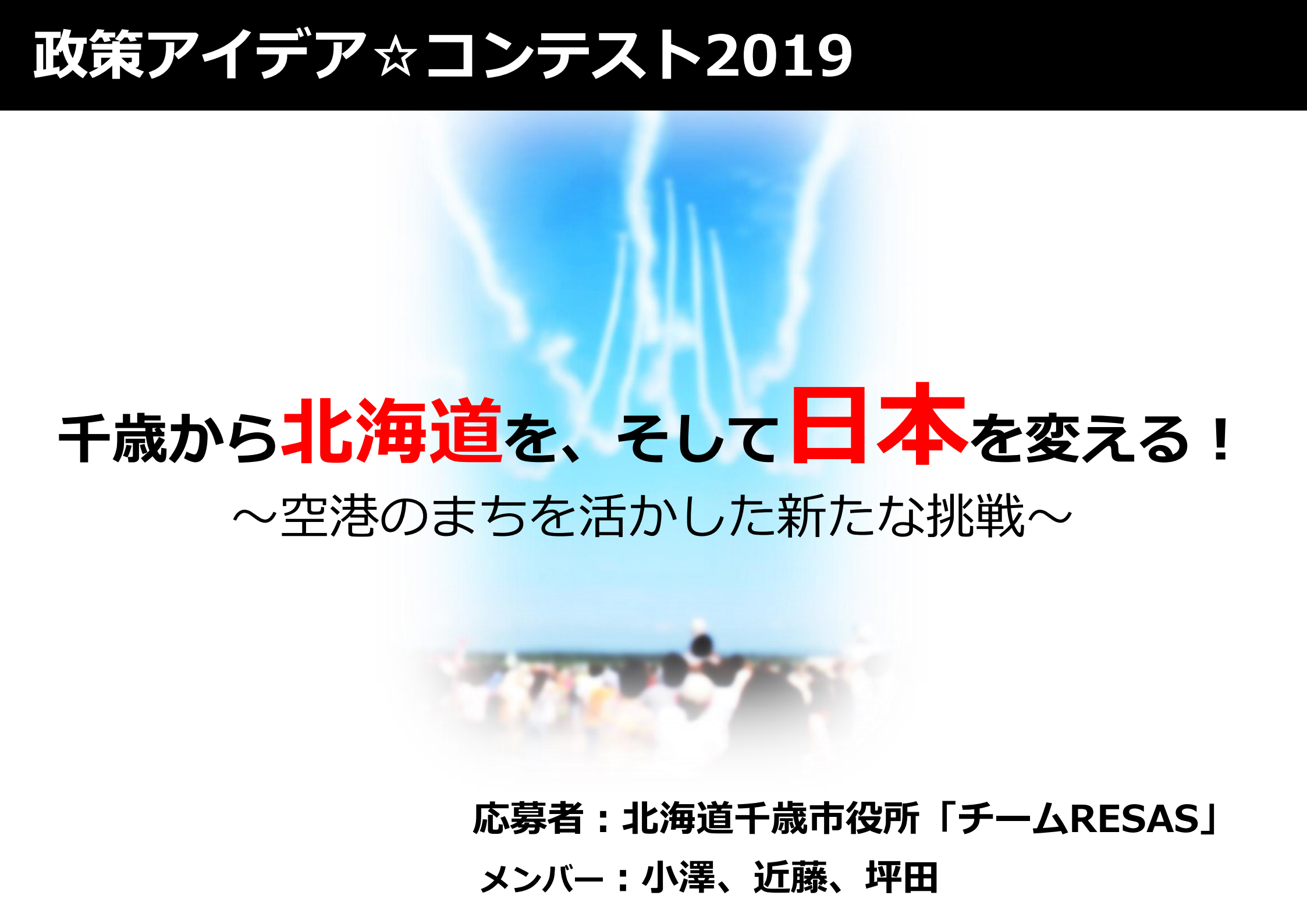


政策アイデア☆コンテスト2019



千歳から**北海道**を、そして**日本**を変える！
～空港のまちを活かした新たな挑戦～

応募者：北海道千歳市役所「チームRESAS」

メンバー：小澤、近藤、坪田

- 北海道の空の玄関である新千歳空港を擁するまち

- 平均年齢が「道内で最も若く」、「人口増加」しているまち

千歳市の概要



面積：595km²（東京23区とほぼ同じ）

人口：97,030人（R01.9.1時点）

平均年齢：43.1歳（H30.4.1）**北海道一**の若さ

平成30年に道内で人口が増えた市は、**35市中3市のみ**
(千歳市：+220人、札幌：+3,109人、恵庭：+329人)

～平成31年住民基本台帳（1月1日時点）～

4つの大きな特色

空港

(新千歳空港)

基地

(陸上・航空自衛隊)

工業

(各工業団地等)

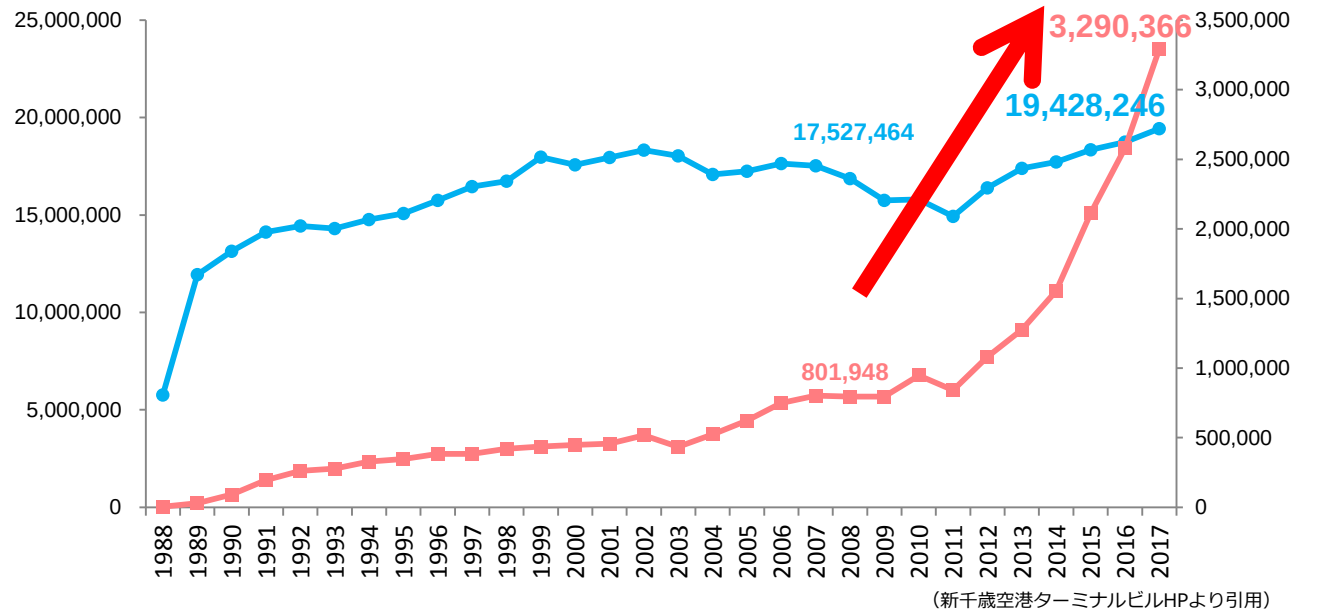
観光

(国立公園支笏湖ほか)



新千歳空港開港以来の航空乗降客数

国内線乗降客数（人）



新千歳空港従業員数の推移

空港従業員数の推移



平成30年度路線別乗降客数一覧

1位	羽田－新千歳	旅客数：9,007,372人	6位	羽田－熊本	旅客数：1,971,891人
2位	羽田－福岡	旅客数：8,647,386人	7位	羽田－広島	旅客数：1,878,286人
3位	羽田－那覇	旅客数：5,919,365人	8位	福岡－那覇	旅客数：1,869,893人
4位	羽田－大阪	旅客数：5,496,982人	9位	成田－新千歳	旅客数：1,829,795人
5位	羽田－鹿児島	旅客数：2,506,276人	10位	羽田－長崎	旅客数：1,764,870人

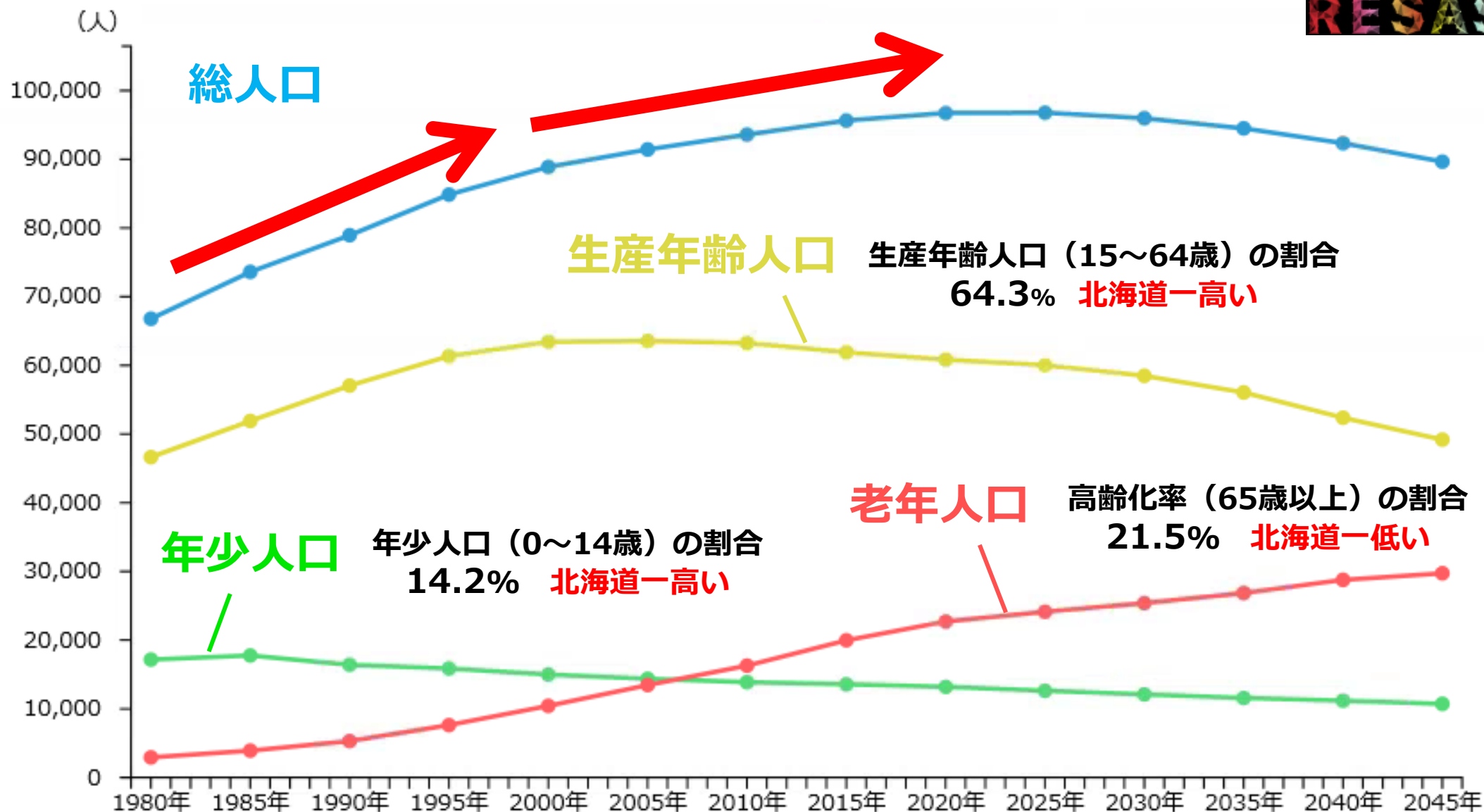
新千歳－羽田間は約1時間40分と移動の負担は少ない！

(東急エージェンシーHP「全国空港概要」より引用)

新千歳空港利用者・空港従業員は、近年著しく増加！

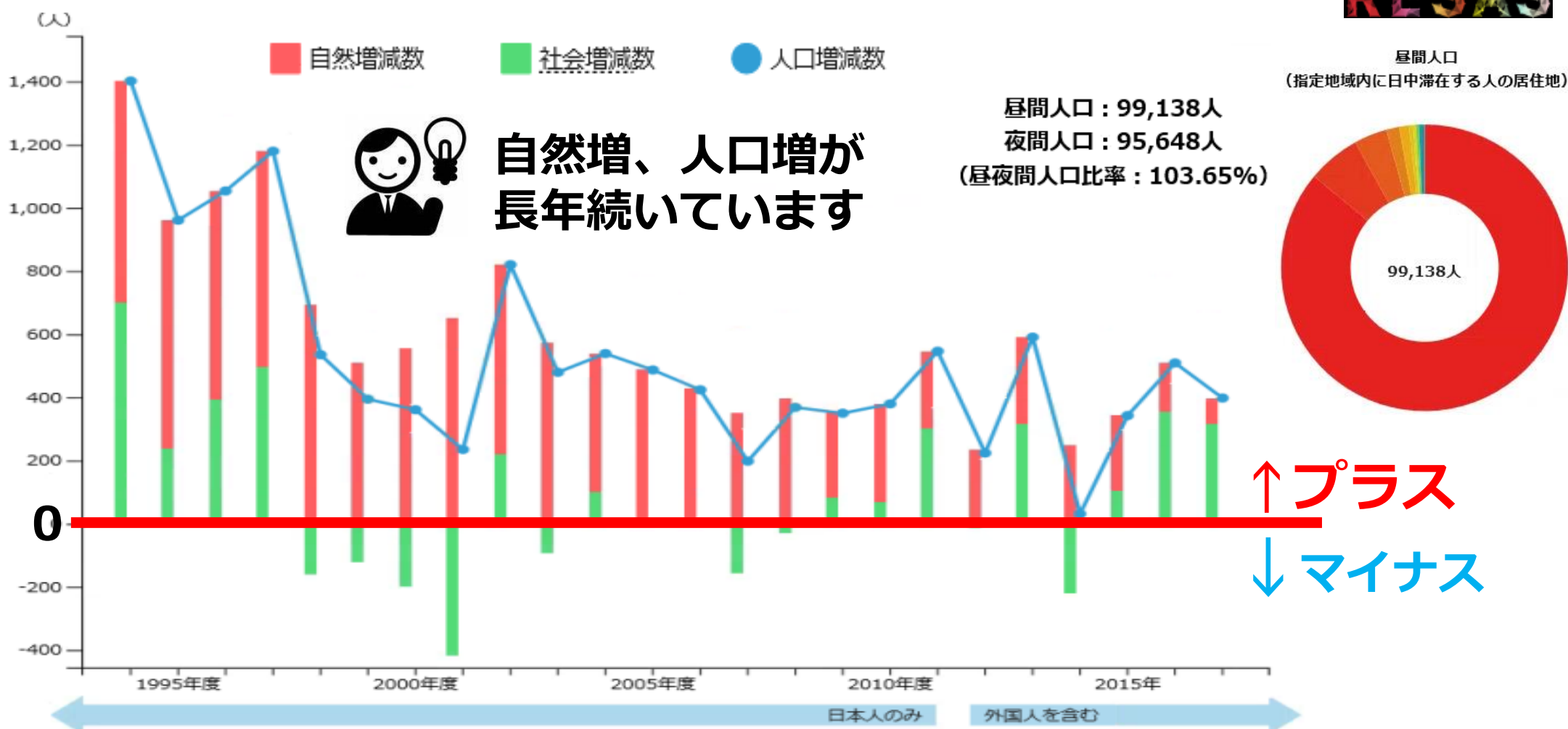
人口推移

RESAS



人口は増加を続け、年少人口・生産年齢人口の割合は北海道一高い！

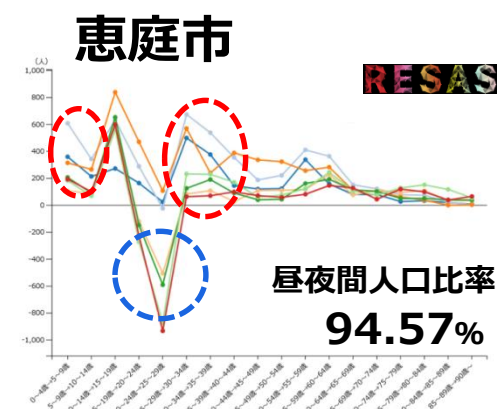
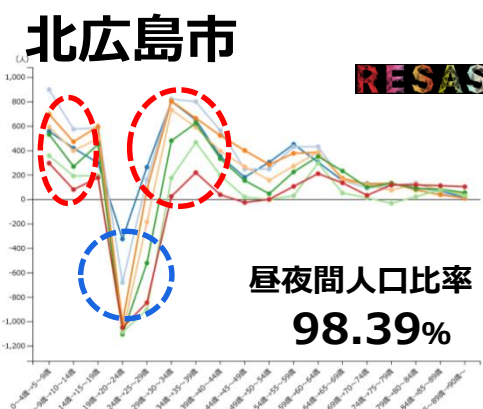
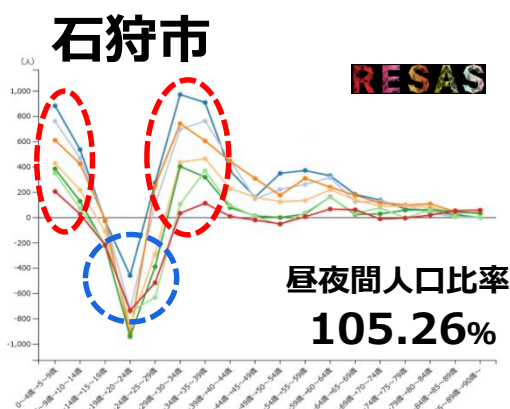
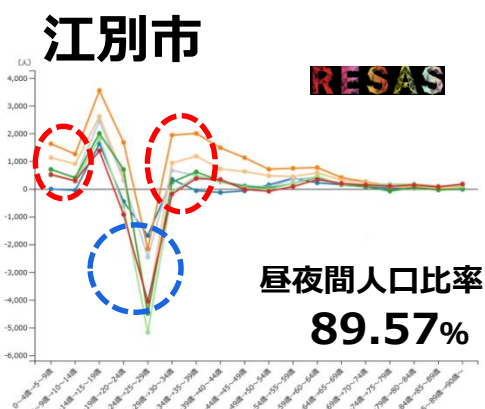
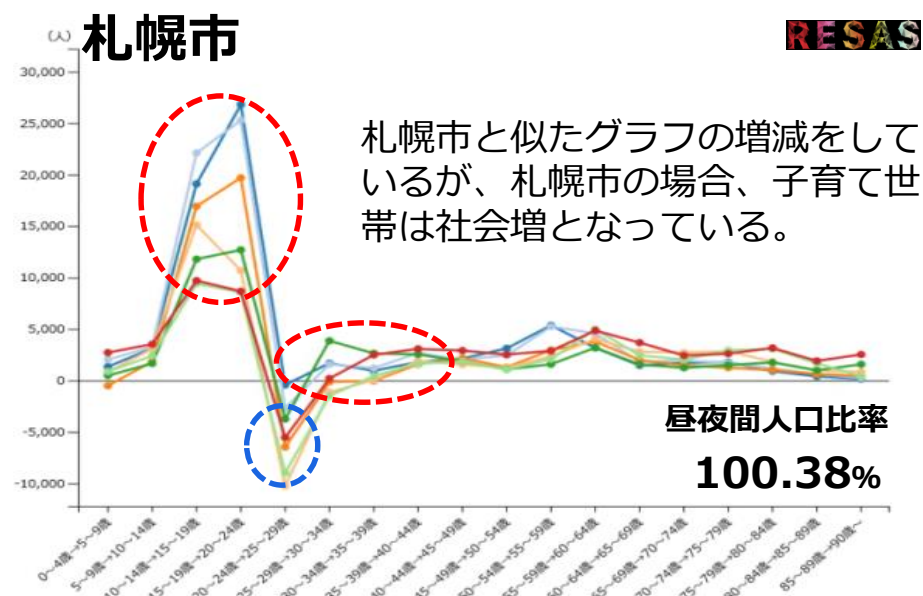
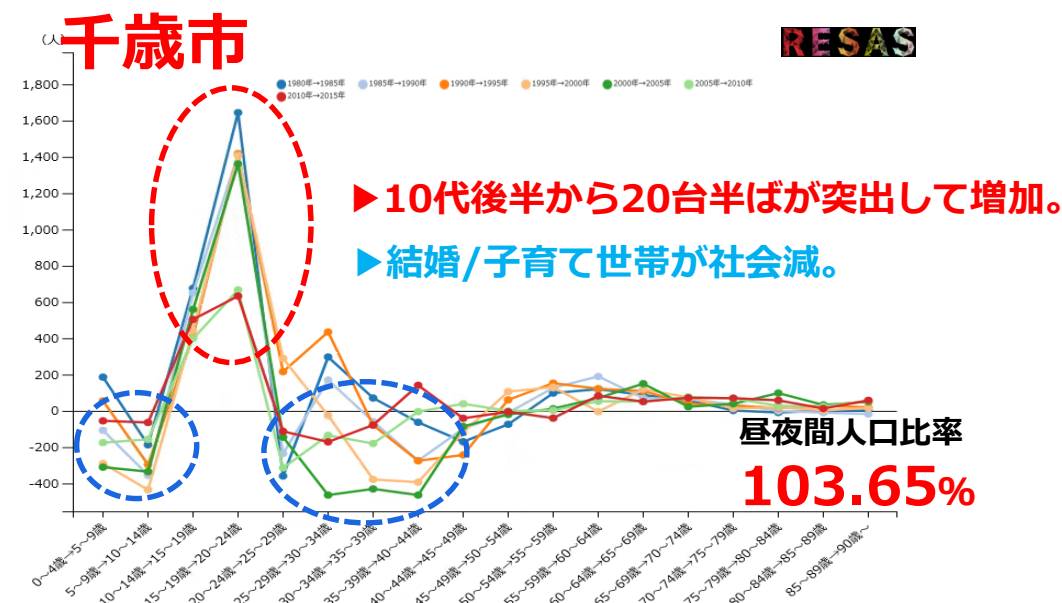
自然増減・社会増減の推移（折れ線）



- ・ 自然増減数は、長年にわたり自然増をキープしている！
- ・ 雇用環境や教育環境が充実し、昼間人口比率が高い！

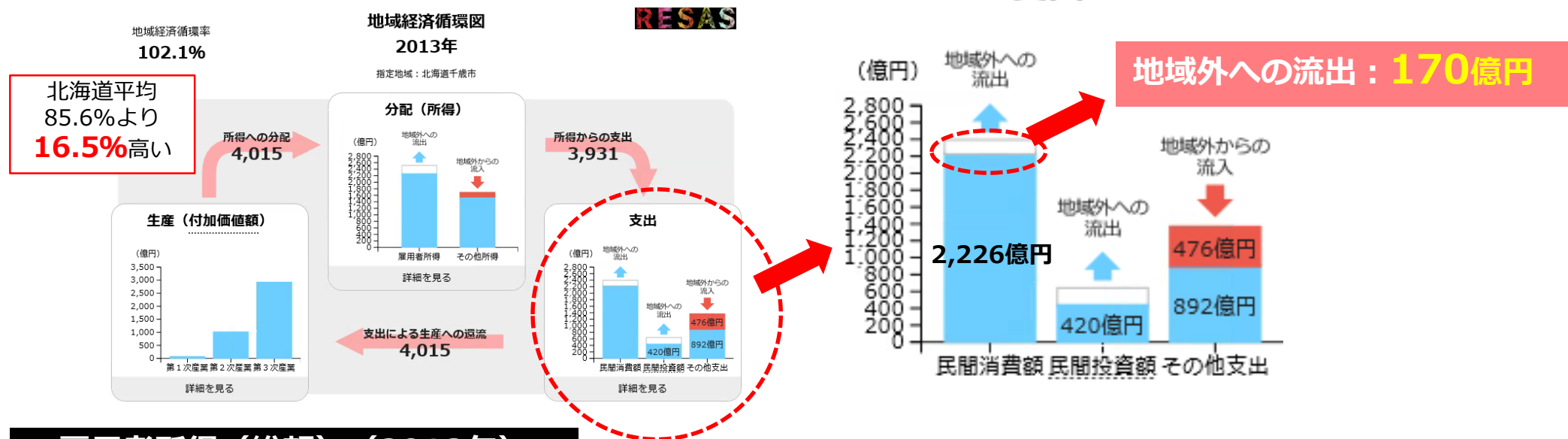
- 近隣の自治体とは、**グラフの山谷が反対になっている！**
- 進学や就職による社会増は多いが、**結婚/子育て時期には社会減となっている！**

年齢階級別純移動数の時系列分析（人口の社会増減）

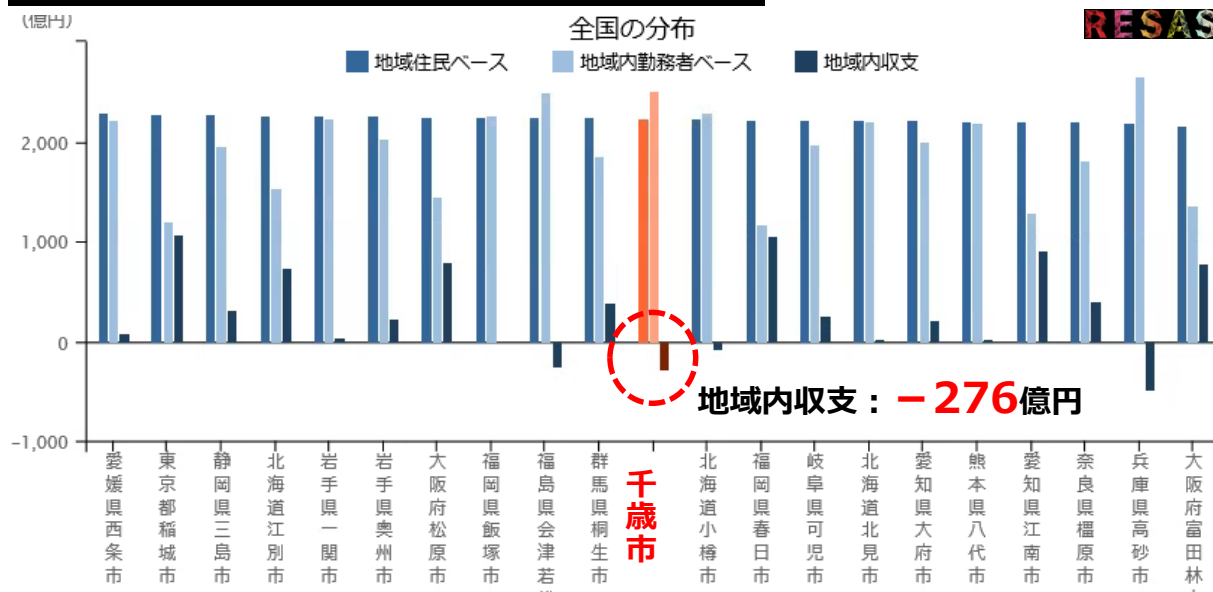


近隣の自治体は、千歳や札幌のベッドタウン化している！

地域経済循環図（2013年）



雇用者所得（総額）（2013年）

支出流出入率 RESAS
2013年

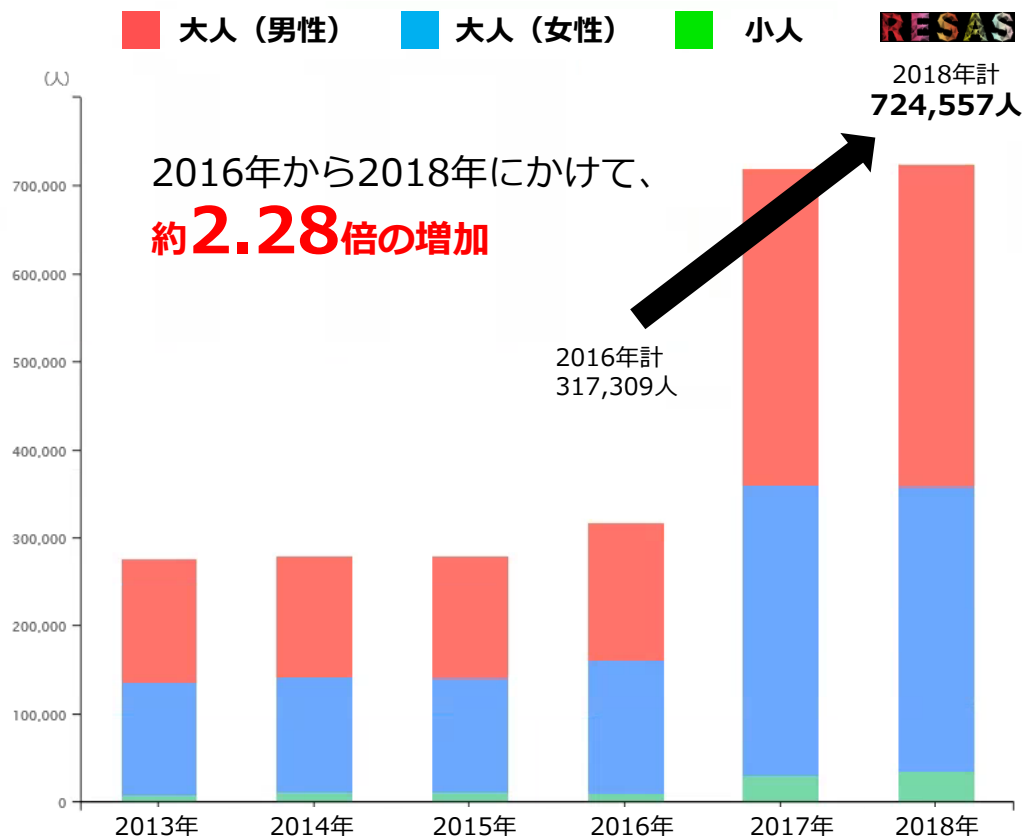
指定地域：北海道千歳市

	民間消費	民間投資	其他支出
支出流出入率	-7.1%	-34.6%	53.4%
支出流出入率 順位	969位	1,380位	147位

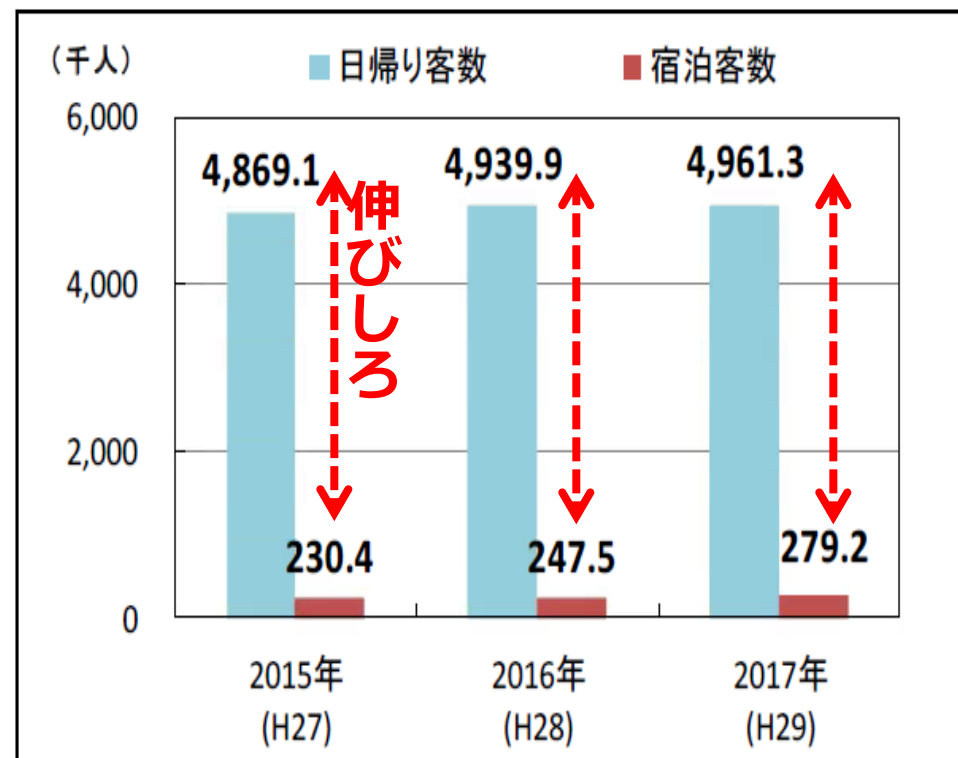
- 地域住民ベース：2,240億円
- 地域内勤務者ベース：2,516億円
- 地域内収支：**-276億円**

人が多く集まるまちにも関わらず、千歳市内でなく地域外で消費されている！

延べ宿泊者数（総計）の推移



市内における日帰り客と宿泊客数の推移



(要覧ちとせ平成30年度より引用)

- ・ 宿泊者数が増加しているものの、千歳市は**日帰り客が圧倒的に多い**。
- ・ 宿泊客数は日帰り客数の**約5%**であり、伸びしろが十分にある。

課題① 子育て世代の市外流出

⇒ GLOBAL STUDY PROJECT “STEEM”

により、解決を目指します！

課題② 消費の市外流出

課題③ 通過型のまち

⇒ JINKO SHARE PROJECT

により、解決を目指します！



夢を実現できるまちとして、子育て世代を取り込むべく、

英語教育×STEM教育を中心とした
千歳市独自の取組“STEEM”を展開！

STEM教育とは、

Science（科学）

Technology（技術）

Engineering（工学）

Mathematics（数学）

各教科で学んだ知識や技能を活用し、**新しいモノや仕組み、価値を作り出す力を育てる教育**のこと。

GLOBAL
STUDY PROJECT

子育て世代の流出により、**出生数の減少**、そして**人口減少**へ…

4 質の高い教育を
みんなに

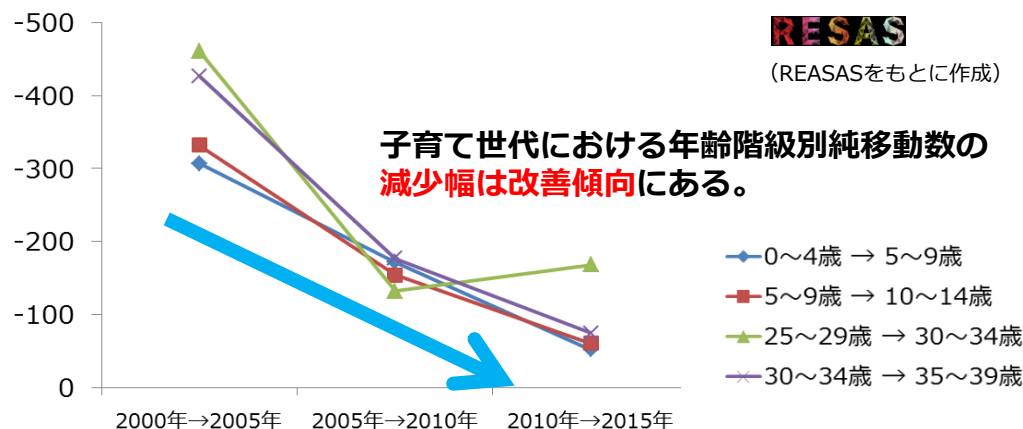


千歳市の取組（平成26年度より開始）



さらなる人口増加を目指すため、“**子育てするなら、千歳市**”をキャッチフレーズに、妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援を実施し、子育て世代がしあわせを実感できる「子育てのまち」を目指しています。

年齢階級別純移動数の時系列分析（人口の社会増減）



「子育て」から「教育」までを絶え間なくサポートすることにより、

- ▶ 充実した子育て・教育環境により、**子育て世代の流出防止**へとつなげる！
- ▶ 子どもたちの夢が叶うまちへ ➡ **市外在住の子育て世代からも一目置かれる教育環境を！**

教科に関する調査結果（中学校）

(2) 中学校教科全体 ()は、国から提供されたデータをもとに道教委、千歳市が独自に算出した小数値

中学校教科全体		国語	数学	英語
平均正答数	千歳市	6.8 問/10 問	8.5 問/16 問	10.9 問/21 問
	全 道	7.2 問/10 問	9.3 問/16 問	11.4 問/21 問
	全 国	7.3 問/10 問	9.6 問/16 問	11.8 問/21 問
平均正答率	千歳市	68% (67.8%)	53% (53.4%)	52% (51.9%)
	全 道	72% (72.1%)	58% (58.1%)	54% (54.2%)
	全 国	72.8%	59.8%	56.0%
全道との比較		やや低い	やや低い	ほぼ同様
全国との比較		低い	低い	やや低い

▶ 国語、数学、英語ともに**全国水準を下回る**。

地方と都市の教育環境には**格差**がある！！



まち全体が一致団結して
解消するべきではないか？



1. 英語教育の強化（ターゲット：高校生以下の子ども）

▶ 市と航空会社が連携協定を結び、子どもたちの夢実現をサポートします！

1. 英語検定やTOEIC等、受験に係る費用を市と企業が負担します。（1人/年1回限り）
2. 基準点を設け、点数に応じて特典がもらえる仕組みを構築します。

（例）TOEICで**600点**を取った場合 ➡ 空港で「**お仕事体験が出来る機会**」をプレゼント。
800点を取った場合 ➡ 「**航空券のマイル**」をプレゼント。

「頑張った分だけ、成果につながる」という目に見える事業を展開し、
 子どもたちが夢を持ち、積極的に英語学習に取り組めるまちを目指します！

2. STEM教育の推進（ターゲット：高校生以下の子ども）

▶ 市・市内立地企業・千歳科学技術大学が連携し、**STEM教育の推進を強化**します！

1. STEM教育特別授業（※千歳市独自の必修科目）を導入します。（産学官連携）
2. 地域課題解決型プログラムの導入やアイディアコンテストを開催します。
3. 他のまちの子どもも体験可能な長期休暇を活用したプロジェクトを実施します。

時代を先取りした教育により、“千歳で学びたい”子ども・保護者を掘り起こします！

ENGLISH + STEM = STEEMの導入により、
千歳市を北海道における“知の拠点”へ！

消費の市外流出、通過型のまちを脱却すべく



“交流”人口をシェア してみませんか？

という考え方にに基づき、北海道の玄関である
千歳市を中心として**地方都市**や**民間事業者**と連携した
滞在システムを構築し、**道内消費の促進**を目指します！

■ターゲット

- ・ 道内外の旅行者
- ・ 仕事をするのに場所を選ばない人（ワーケーション）
- ・ 千歳への通勤者 など



いま、世の中で起きていること

1. サブスクリプション（月額定額制）

NETFLIX

動画

Lexus

ファッション

KiNTO

車

モノやサービスにも「サブスク化」が広がっている

2. シェアリング・エコノミー



車



タクシー



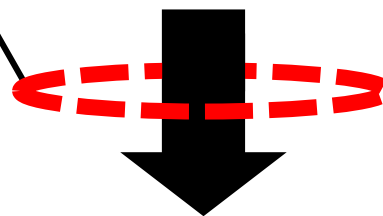
宿泊

「所有」から「共有（シェア）」する時代へ

■システム概要

北海道の玄関として千歳市が
チェックイン・チェックアウト
機能を担う

利用者



※サブスクリプション制とは、
定額制で期間内であれば自由に
サービスを受けられるシステム

サブスクリプション制で
検索・予約・決済が可能なシステム

ホテル

- ・道内ホテルの宿泊が自由
- ・1都市1泊以上を条件
- ・部屋のランクで料金体系が変動



移動手段

- ・ **MaaS**により、様々な移動手段が利用可能

— 自転車
— レンタカー
— バス
— 鉄道 など

※MaaSとは、様々な種類の交通サービスを統合して検索・予約・決済などを可能にするサービス

イベント

- ・回遊コースの提案あり
- ・観光から体験学習まで様々なイベント

千歳市を中心に北海道全体を一つのホテルにする！

■利用者フロー

①ネットで**滞在先の予約**を行い、
定額料金を支払う。

→2週間で8万円(レンタカー込) など



②千歳市でチェックインし、
レンタカー等の**移動手段が揃った状態**で旅が始まる

→まずは千歳市で支笏湖の観光やSTEM教育を体験



③期間内は道内のホテルに**自由に宿泊**が可能

→千歳市3泊→札幌市3泊→小樽市4泊→ニセコ町3泊

→千歳市1泊など、自分で行き先を決めて自由な旅や生活を！



④滞在先の**イベント予約**が可能

→野菜の種まき体験(育てるのは提携農家が実施)などを体験、刈取時期に再訪問し、収穫も可能

→地方都市を回り、体験学習や観光を行う。

⑤千歳市でチェックアウトして旅が終わり！



■ 事業効果



- ・千歳市のみならず**北海道全体を対象**とした消費促進
- ・千歳市は旅の「**始まり**」と「**終わり**」の滞在で消費が2倍
➡ **通過型のまちからの脱却、さらに市内消費の促進へ**



- ・ホテルやレンタカー事業者等は、稼働率が落ちる平日の**予約**を安定的に見込むことができる。（空室対策）
➡ **関係人口増加により、雇用創出へ**



- ・予約を一括して行うことができ、**利便性が高い**。
- ・長期的な予約となるため、**料金が安い**。
➡ **自由なライフスタイルを送ることが可能**

**サブスクリプション制の滞在システムで“交流人口をシェア”し
千歳市から北海道全体の消費促進を図ります！**

将来的には全国の空港のあるまちと連携して全国展開へ！

情報発信力の強化に向けて

どれほど素晴らしい取組や情報も、
相手に届かなければ、やってないも同然…



オモテに出てこない、埋もれてしまっている
まちの良いところや情報（＝**つぼみ**）を

HANASAKA PROJECTにより
“**満開の花**”にしてみせましょう！

■ターゲット

- ・これから子育て世代になるワカモノ
- ・現役の子育て世代
- ・千歳市に興味を持つ市外居住者

	92.0%	10代～40代の平均利用率が
	54.6%	90%以上のSNSがあるなど、 利用率が高い！
	37.7%	
	50.3%	

総務省情報通信政策研究所発行
H30「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」より算出

■具体的な施策

SNS一括配信サービスの構築により、

- ・千歳市の良いところを各SNSに一括投稿（抽選で当たる商品のPR情報を自動で付加）
- ・投稿者は抽選で商品を受領（1投稿に対し投稿SNS数に応じて応募数が増加）

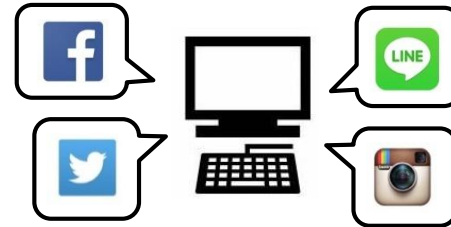
情報発信源が**市民**や**観光客**になり、商品当選者の投稿を再アップで**情報量が倍！**

自治体運営の**安心感**、**空港**や市内**商業施設**を巻き込んだ**PR**により参加者が増加！

- ・まちの情報発信の主役は**市民**や**観光客**です！
- ・**実感を持った情報の発信**が可能となります！

■利用者フロー

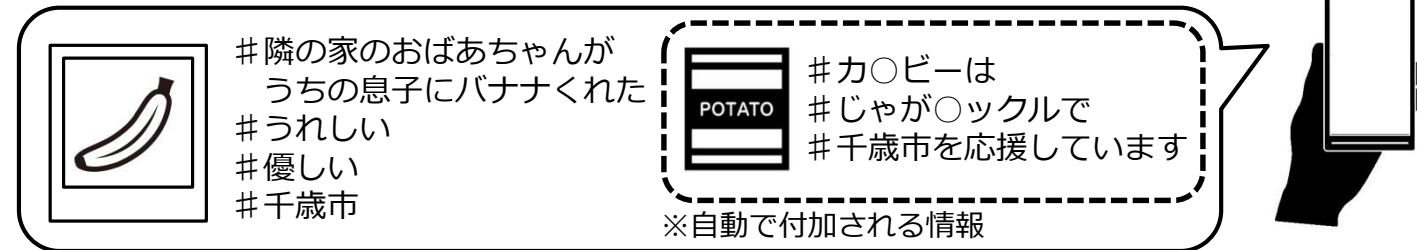
- ①HPやアプリでアクセスし、
保有するアカウントを登録
→各SNSへ一括で投稿することが可能に！



- ②抽選で当たるほしい商品を選択
→市と企業が連携します



- ③“日常にある”千歳市の良いところや写真を
各SNSへ一括配信
→抽選で当たる商品のPR情報が自動で付加されます

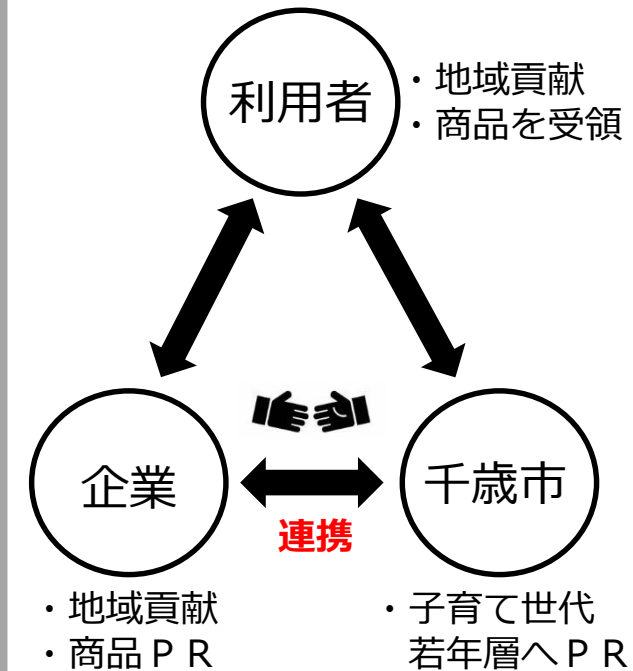


- ④抽選で商品を受領！ →1投稿あたりの投稿SNS数に応じた応募数

■関係性

HANASAKA

情報発信



有益な関係性を築き、
“持続性のある発信の場”
を提供

千歳に“住んでいる”、“訪れる”**みんなが P R 大使！**
市内外に向けて**効果的なPRが可能！**

HANA
SAKA PROJECT

GLOBAL
STUDY PROJECT

JINKO
SARE PROJECT

千歳から**北海道**を、そして**日本**を変える！

～空港のまちを活かした新たな挑戦～